

【ジェットロ】

# 米国ビザ動向の徹底解説ウェビナー

2021年10月21日

RBL Partners PLLC 代表弁護士  
ボアズ 麗奈

# 自己紹介



ボアズ麗奈  
RBL Partners  
代表弁護士

Super Lawyers

## <略歴>

ニューヨーク州弁護士。ニューヨーク大学経済学部、フォーダムロースクール卒業。全米最大の移民法弁護士事務所、Fragomen, Del Rey Bernsen & Loewyにて多くの在米日系企業を担当。2010年に独立し、RBL Partnersを設立する。米国移民法を専門とし、雇用法、コンプライアンス対策等の法的サポートを提供しながら、講演・執筆も多数実施。JETRO NYを通して進出企業やスタートアップの法務アドバイザーを務め、数々の在米日系企業の顧問弁護士でもある。2017~2021年、5年連続でNew York Super Lawyersに選ばれる。

## <会社概要>

RBL Partners法律事務所は2010年に設立。ニューヨークを拠点に、ロサンゼルス、東京にも展開し、全米及び日本からも相談を受けている。在米日系企業を対象に、米国ビザ各種や労務全般・会社法など、幅広い法律分野をサポート。弁護士及びリーガルスタッフは全員バイリンガルで、日本語でアドバイスを提供している。

# アジェンダ

- ❖ バイデン政権の移民制度 ～実際に何か変わったの？～
- ❖ **\*注目\***11月8日からのワクチン義務化、知っておくべきこと
- ❖ 在日アメリカ大使館・領事館のアップデート
- ❖ 米国移民局（USCIS）の現状
- ❖ E・Lビザの最新事情と審査トレンド
- ❖ グリーンカード申請の動向と現状
- ❖ Q&A 応答タイム

# バイデン政権下の移民制度①

## ～実際に何か変わったの？～

トランプ前政権の数々のビザ制度を撤廃…

(1) 「BAHA」(Buy American and Hire American ・ EO 13788) 大統領令を撤廃

～就労ビザ申請に「アメリカ人労働者を保護する」要件削除

(2) 非移民ビザ (L-1, J-1, H-1B) ・ 移民ビザ(グリーンカード) 受け入れの再開

～ 4月1日以降、L-1/J-1/H-1Bビザの申請が従来通り可能に

～ 例外規定 NIE (National Interest Exception) の審査は不要に

# バイデン政権下の移民制度②

## ～実際に何か変わったの？～

パンデミック対策に伴う、入国規制の強化…

(1) トランプ前政権の「COVID-19 Travel Ban」大統領令を延長し、  
南アフリカ・インドを追加 **\*\* 1 1月7日まで\*\***

- ▶ 33カ国からの入国制限（英国、アイルランド、EU（シェンゲン地域）、中国、イラン、ブラジル、南アフリカ、インド）

(2) 1月26日～ 陰性証明書の提示を義務化

- ▶ 国籍問わず（**アメリカ市民、永住者も含む**）
- ▶ 出国より72時間以内の検査

(3) **\*注目\*** 1 1月8日～ ワクチン義務化

# ワクチン義務化について①

~今週のニュース記事~



**U.S. to lift restrictions Nov 8 for vaccinated foreign travelers**

朝日新聞

米国、入国する全外国人へのワクチン接種を義務化へ  
11月8日から



**White House says fully vaccinated foreign visitors can start entering US on November 8**



アメリカ入国、ワクチン接種完了を義務化...陰性証明で入国できた日本人は規制強化に

# ワクチン義務化について②

～知っておくべきこと～

▶ **実施開始日** 2021年11月8日

▶ **対象者**

外国国籍（アメリカ市民？グリーンカード保持者？） **\*\*\*未定\*\*\***

空路と陸路での入国が適応

▶ **ワクチン種類**

FDA（米食品医薬品局）やWHO（世界保健機関）が承認したワクチンが対象

（Moderna, Johnson & Johnson, Pfizer-BioNTech, Oxford-AstraZeneca/Covishield, Sinopharm, Sinovac）

▶ **接種免除の条件** **\*\*\*未定\*\*\***

（18歳未満の子供？、ワクチンを受けられない地域からの訪問者？等が考えられます）

# ワクチン義務化について③

## ▶ 留意点

- 72時間以内のCOVID-19陰性証明は引き続き必要
- 連邦とは別に、各州の入国要件をチェック  
(到着後のPCR検査、隔離期間、報告義務等)
- 免除条件等については、近日中に正式な発表が予定されている  
＜ウェビナー登録者に配信予定＞



# 在日アメリカ大使館・領事館のアップデート①

(US Embassy Tokyo / US Consulate Osaka)

8月30日より、全ビザサービス再開（Bビザ含む）

## 緩和対応

- ▶ F/M/一部J ビザの特別面接免除（**12月31日まで**）
- ▶ 「郵送申請」の条件緩和（**12月31日まで**）

<大使館リンク： [https://www.ustraveldocs.com/jp\\_jp/jp-niv-visarenew.asp#howtoapply](https://www.ustraveldocs.com/jp_jp/jp-niv-visarenew.asp#howtoapply) >

## \* 注意点 \*

- ▶ バックログ問題（例：移民ビザ・Eビザ企業登録）
- ▶ 年末・年始に向けて、早めの面接の確保
- ▶ **\* 重要 \*** 日本入国 + 14日後の面接・緊急リクエスト（**短縮なし**）

# 在日アメリカ大使館・領事館のアップデート②

## ❖ 郵送申請

- 日本に滞在している
- 同じビザの更新
- 新規ビザ申請の場合、13歳以下、または80歳以上（国籍を問わず）
- その他の条件を満たす（ビザ・ESTA却下歴や逮捕歴がない等）

### <注意点>

- 通常Lビザの更新は郵送可、ブランクセットLビザは不可
- 初回のビザが14歳未満で発行され、現在14歳以上であれば不可

### 郵送申請の条件：

<新規ビザ> [https://www.ustraveldocs.com/jp\\_jp/jp-svc-visachild.asp](https://www.ustraveldocs.com/jp_jp/jp-svc-visachild.asp)

<更新> [https://www.ustraveldocs.com/jp\\_jp/jp-niv-visarenew.asp](https://www.ustraveldocs.com/jp_jp/jp-niv-visarenew.asp)

# 米国移民局の現状

## (USCIS -Citizenship & Immigration Services)

### ▶ 管轄

米国内のビザステータス・I-94の延長や切替、米国内のグリーンカード、市民権・再入国許可書等

### (1) E/H/Lビザ保持者の帯同家族の生体認証 (Biometrics)を一時停止

- ▶ 停止期間：2021年5月17日～2023年5月17日

### (2) 特急申請 (プレミアムプロセッシング) を再開

**\*\* ただし大幅値上げ\$1225 ➡ \$2500! \*\***

#### ▶ ケースの事例：

- ❖ USCISの事前許可が必要な新規ビザ就労者 (L-1、H-1B、O-1等)
- ❖ 米国内でI-94滞在延長を申請するビザ就労者 (E、L-1、L-1 Blanket、H-1B、O-1)

### (3) USCISの審査傾向・審査期間

# E・Lビザの最新事情と審査トレンド

## E-1 / E-2 投資・貿易 ビザ

- ▶ Eビザ企業登録の電子申請・登録後の維持が変更
- ▶ 審査トレンド：
  - ❖ E-2 日本国籍の証明
  - ❖ E-1 日米間の貿易の証明

## L-1A / L-1B 駐在員 ビザ

- ▶ L ブランケットビザ保持者：入国時のI-129Sフォームの回収に注意
- ▶ 審査トレンド：トランプ前政権と変わらずに厳しい審査基準
  - ❖ L-1A 管理職・重役
  - ❖ L-1B 技術職

# グリーンカード申請の現状

## 審査傾向・審査期間のアップデート

- ▶ 審査期間：PERM（EB2/EB3）とEAD手続きが長引いている

## ワクチン接種を義務化

- ▶ 10月1日より、グリーンカード申請者に対し、COVID-19ワクチン接種を義務化（子供、宗教的な免除あり）

## <事例>

### パンデミックの影響で、暫く米国に戻れなかったグリーンカード保持者

- ▶ 365日以上の出国 ⇒ 永住する資格を失うリスク
- ▶ 再入国許可書の取得、SB-1ビザの申請等

**RBL**

PARTNERS

# ご清聴ありがとうございました！

## 【連絡先】

**RBL Partners PLLC**

<NY> 225 Broadway, Suite 3005, NY NY 10007 | 212.960.3593

<LA> 350 S. Figueroa Street, Los Angeles, CA 90071 | 213.239.0099

<Tokyo> 7-7-7 Roppongi, 8<sup>th</sup> floor, Minato-ku, Tokyo | 03.5789.5158

**Email:** <[info@rbllpartners.com](mailto:info@rbllpartners.com)>

# お断り <Disclaimer >

セミナーの内容は一般情報として提供されており、特定の案件に対する個々の状況に適した法的アドバイスではありませんので、ご了承ください。個々の状況に適したアドバイスを必要とする際には、必ず専門の弁護士にご相談ください。

This presentation provides information on legal issues and developments. The slides and presentation are not a comprehensive treatment of the subject matter covered and are not intended to provide legal advice. Seminar attendees should seek specific legal advice before taking any action with respect to the matters discussed in this presentation.



## 応答タイム

皆様からの質問にできる限り、  
回答いたします！



# ワクチン義務化に関する質問



- ▶ 日本のワクチン証明書（英文表記）は、米国でも有効でしょうか？
- ▶ アメリカビザ申請時に、ワクチン証明は必要になるのでしょうか？
- ▶ アメリカに居住しているビザ保持者やグリーンカード保持者もワクチン義務化の対象になるのでしょうか？
- ▶ 健康に問題なくとも接種していない人の入国または通過は拒否されますか？
- ▶ 11月よりシェンゲン協定国や英国などからの入国が可能となるという報道がありましたが、日程など決定されているのでしょうか。

# アメリカ国内での申請に関する質問



- ▶ E/L ビザの申請をしてから1年以上経過しますが、コロナの影響で審査が遅れていますか？
- ▶ E/Lビザの更新中ですが、自分でStatusのUpdateをオンライン等で確認することはできるのでしょうか？
- ▶ 移民局で特急審査でE/Lビザを申請する場合、家族のL-2/E-2も同時に特急審査される見込みは？
- ▶ 配偶者の労働許可証（EAD）申請について、かなり時間がかかっていますが、何か情報をお持ちでしたら頂けないでしょうか？
- ▶ 2020年、2021年とほぼ売上が無い、非常に少ない中、ビザの更新への影響は如何になりますでしょうか？コロナ事由による特別な恩赦などは無いのでしょうか？
- ▶ Eビザ保持者がI-94を延長する必要がある場合、やはり日本へ一時帰国しての手続きが最速かつ確実でしょうか？隣国や他国へは行けますか？

# 各種ビザに関する質問

- ▶ 2022年度のH1Bビザに関する見込みは？
- ▶ J1研修生ビザ取得の申請・プロセスの近況について教えてください。
- ▶ Bビザで許可される活動範囲について教えてください。
- ▶ E-1ビザとE-2ビザ、どちらが取りやすく、短期取得可能か？
- ▶ Blanket Lビザ申請にあたり、日本側での最低就労期間についてアドバイスがあればお伺いしたいです。
- ▶ 赴任中日本人駐在員のLビザ（ブランケット）更新あるいはLビザからEビザへ切替を行う際を天秤に掛けた際の利点・懸念点は？

